



带状疱疹で入院される患者様へ

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/1

日付	/	/	/	/	/	/	/	/	
入院日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	
イベント	入院日	治療中						退院日	
目標	□発熱、吐き気、頭痛がない						□新たな水疱がない		
毎日看護師と評価します	□痛み止めを使用して痛みのコントロールができる								
	□治療についてわかる				□退院後の生活についてわからないことを聞くことができる				
内服注射	<ul style="list-style-type: none"> 入院後から带状疱疹の抗ウイルス剤の点滴が始まります。入院日は14時と21時に行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 2日目から抗ウイルス剤の点滴は1日3回（6時、14時、21時）になります 						<ul style="list-style-type: none"> 退院日は6時の点滴を行って終了です。
	痛み止めのお薬が処方されることがあります。								
検査	入院時採血があります 		退院基準： □皮疹や痛みの悪化が見られない						
治療処置	<ul style="list-style-type: none"> 1日1回体温、脈拍、血圧を測定します。 带状疱疹の部位には薬を塗ることもあります。塗る回数や塗り方については説明させていただきます。 带状疱疹が水疱（水ぶくれ）になっていたり、滲出液（つゆ）が出ている場合にはガーゼを当てます。 乾燥しましたら軟膏を塗るだけになります。带状疱疹が乾燥していても衣服とすれて痛い場合はガーゼなどで保護します。 								
食事飲水	常食が出ます。食べにくい場合や、食事制限のある方はお知らせください。								
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示により、シャワーまたは身体を拭いて頂き、その後薬を塗ります。 シャワーの時間や場所は説明させていただきます。 带状疱疹の部位は石鹸を泡立てて、手で優しく洗いましょう。 湯冷めすると、痛みが強くなる場合がありますので、体を冷やさないようにしましょう。 								
安静活動	基本的には自由ですが、痛みやしびれがある場合には医師より指示がある場合があります。その場合には看護師から説明させていただきます。								
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 带状疱疹による痛みには、鎮痛剤の使用や、「温めること」が有効です。温める場合、病棟にホットパックがありますので、希望される方は看護師に知らせて下さい。 带状疱疹の痛みが強くて眠れない場合はお知らせください。 痛み、しびれやその他の症状（頭痛・吐き気など）がある場合にはお知らせください。 				<ul style="list-style-type: none"> 退院に向けて軟膏処置を練習します。最初は看護師と一緒にいき、退院時には自己処置もしくはご家族ができるように説明させていただきます。 退院後の日常生活での注意点について説明させていただきます。⇒冷やさない、薬をきちんとつける、保護が必要な場合は、保護することが大切です。 退院手続きの方法について説明させていただきます。 次回受診の予約票をお渡しします。 				

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります